

(津山西部・津山東部)

# 一九七七年以前出土の木簡（一九）

## 岡山・美作国府跡

みまさかこくふ

- 1 所在地 岡山県津山市総社
- 2 調査期間 一九七一年（昭46）四月～一九七二年三月
- 3 発掘機関 岡山県教育委員会
- 4 調査担当者 伊藤 晃・泉本知秀・井上 弘・池畑耕一  
岡田 博

- 5 遺跡の種類 官衙跡（国府）
- 6 遺跡の年代 八世紀～中世
- 7 遺跡及び木簡出土遺構の概要  
美作国府は、中国山地と吉備高原の間の盆地帯に位置する。最大の盆地は津山

盆地で、ほぼ中央部の吉井川流域の低位段丘上に総社宮が存在し、その周辺一帯が美作国府に比定されている。

美作国は、『続日本紀』和銅六年（七三三）四月乙未条に「割備前国六郡、始置美作国。」とあり、備前国より北部の六郡（英多・勝田・苦田・久米・大庭・真島）を割いて成立したとされる。

美作国のほぼ中心にあたる苦田郡に置かれた国府については、従来から「幸畑」「北幸畑」「南幸畑」という字名から、台地西側の丘陵に位置する総社宮の東から北側の畑地や水田一帯に存在することが指摘されていた。とりわけ、総社宮の東西の参道以北には約二〇〇m四方の安定した平坦面があり、政庁域の存在することが近年の発掘調査でも確かめられている。

美作国府の最初の発掘調査は、中国縦貫自動車道の建設に伴うもので、国府推定域の北西隅、「有居」「馬出」「後田」の字名の残る水田・畑の一角がその対象地であった。先述の国府域から北西方向に浅い谷をはさんで位置する丘陵上が調査の主要な部分であった。発掘調査の進展に伴い、大規模な造成によって丘陵は平坦に均され、浅い谷は整地された様子が随所で観察された。

奈良時代から平安時代初期の主な遺構としては、丘陵部では掘立柱建物六棟のほか、検出全長約一〇〇mに及ぶ東西方向の築地状遺構がある。さらに井戸・土坑・柱穴多数が検出されている。井戸は三基検出されているが、そのうちの井戸Ⅳは井戸枠や井筒が完存しており、井戸側の上面や井筒の内部からは「少目」「秀」の墨書土器、刀子・横櫛・つるべなどのほかに斎串が出土している。平城宮土器編年Ⅳ～Ⅴ期に存在したことが確実な井戸である。

このほか、この時期のおもな遺物としては、平城宮六二五型式の軒丸瓦、同じく六六三型式の軒平瓦が出土している。これらは美作国分僧寺・尼寺の出土例と関連し、美作地方の寺院跡や古代遺跡にも類例がみられる。

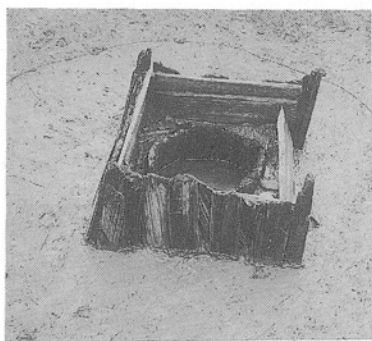
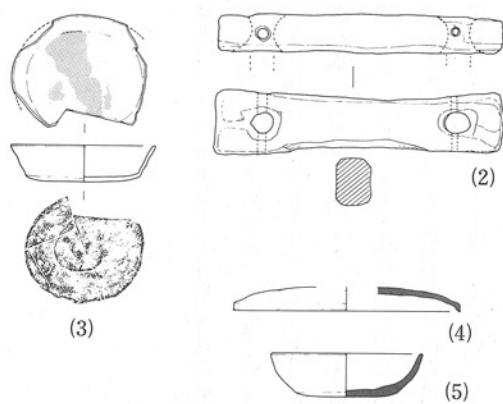
そのほか、多数の陶硯や、平城宮土器編年Ⅱ～Ⅴ期に比定される須恵器・土師器の出土が顕著である。また、文字資料としては「大」の墨書土器があるが、古く採集された須恵器高杯に「厨」と墨書されたものがある。さらに、最近の発掘調査では「苦田」の墨書土器もみられる。

今回紹介する木簡は、井戸Ⅳの南西約六五mに位置し、地形的には上方、水源を共にする浅い谷の谷頭にあたる地点で検出された井戸Ⅰのすぐそばで出土したものである。

井戸Ⅰは、隅柱横棧式の一辺八五cmの方形の井戸側の中央に径五五cmの削り抜きの井筒を埋置したもので、厚い粘質土に覆われてい

たため良好な保存状態で検出された。(1)はこの井戸側の東辺から約三〇cm離れた粘土層から出土したものである。出土位置から、井戸に関わる何らかの祭祀、あるいは告知する目的があった可能性がある。周辺からは図(2)の牛の鼻輪(鼻繰り)の一部も出土している。

井戸側内からは斎串の破片のほかに図(3)の墨書土器(土師器)が出土し、かすかに「高」の文字が看取される。図(4)(5)は須恵器蓋・杯である。平城宮土器編年Ⅳ～Ⅴ期に比定される可能性が高い。



井戸Ⅰ

## 8 木簡の釈文・内容

(1)



240×22×45 051

材質はスギあるいはヒノキとみられる。上端を圭頭状に、下端を鋭く齧串のように尖らせている。上端には齧串のような一对の切り込みはない。三ないし四文字の墨書が推定される。一番上の一文字は「風」あるいは「風」のような漢字が考えられるが、前者は国字である点に注意される。また、書き手の意図で、もともと読めない文字が書かれた可能性も否定できない。

## 9 関係文献

岡山県教育委員会「美作国府」〔岡山県埋蔵文化財発掘調査報告六—中国縦貫自動車道建設に伴う発掘調査三—〕 一九七四年  
津山郷土博物館「美作国府」展示図録（一九九五年）（岡田 博）



部分

## 木簡研究 第二二号

## 巻頭言

一九九〇年出土の木簡

笹山 晴生

概要 平城京跡左京三条三坊十二坪 東大寺旧境内（三社池） 藤

原宮跡 藤原京跡右京七条二坊 山田道跡 山田寺跡 長岡京跡

今里城跡 鳥羽離宮跡 壬生寺境内遺跡 里遺跡 大坂城跡 住友

銅吹所跡 山之内遺跡 勝山遺跡 新金岡更池遺跡 豊嶋郡条里遺

跡 五反島遺跡 上小名田遺跡 吉田南遺跡 明石城武家屋敷跡

今宿丁田遺跡 袴狭遺跡 伊賀国府推定地 瀬名遺跡 忍城跡 市

原条里制遺跡 鉢形地区条里遺跡 石田三宅遺跡 斗西遺跡 一乗

谷朝倉氏遺跡 浄水寺跡 上荒屋敷跡 田中遺跡 八幡林遺跡 緒

立C遺跡 的場遺跡 荒田目条里制遺跡 柳之御所跡 矢野遺跡

岡山城二之丸跡 草戸千軒町遺跡 長登銅山跡 東山崎・水田遺跡

鴻臚館跡 大宰府跡 観世音寺跡 多田遺跡 上高橋高田遺跡

一九七七年以前出土の木簡（一三）

飛鳥京跡 県立明日香養護学校遺跡 大坂城跡

下曾我遺跡と出土木簡

香川県長福寺出土の木簡

「二条大路木簡」と古代の食料品貢進制度

中国簡牘学国際学術研究会参加記

彙報

頒価 四三〇〇円 千六〇〇円

鈴木 靖民  
館野 和己  
樋口 知志  
佐藤 信